



# はまなし通信

## ● ご家族のみなさまへ ● 令和3年10月

新型コロナウイルスの警戒宣言が解除され、各地での感染報告件数も激減しています。山梨もこのところはケタ台、0人の報告がされています。数字的には一段落したいところですが、油断はできません。山梨におけるワクチン接種率は70%を超えています、若年者の接種はまだ十分ではありません。さらに現在感染が報告されている方の多くは変異株への感染。「ワクチン接種＝安全」の図式には警笛がなされています。

今年度の行事は、外部との接触を避けて実施することは継続します。また、面会については、面会者の健康が良好であることを確認し、相談室での面会ができるようにしていきたいと思えます。第六波が報告されたときには、再度面会の制限を実施しますので、ご協力をお願いします。これから寒くなる時期、とにかくお身体をご自愛ください。

## はまなしカレンダー

### 令和3年

#### 9月

- ・9/11(土) 予定されていた「富士ふれあいの村まつり」は、中止となりました。
- ・9/28(火) 夜間想定防災避難訓練  
夜間に火災等発生した場合の訓練を実施

#### 10月

- ・10/2.3(土、日) 定期床面清掃  
例年のように、床へのワックスがけを施行しました。  
床面の衛生状態を保ち、感染予防いたします。
- ・10/4(月)  
「アバターロボ」体験(県、ドコモ主催)  
はまなし寮内でロボット遠隔操作での観光体験をしました。
- ・10/26(火)  
収穫祭  
コロナ禍でも、はまなし畑でジャガイモなどが収穫  
できました。楽しんで食す予定です。
- 11月  
・インフルエンザ予防接種(利用者・職員)を  
実施します。

## ■ 障害者支援施設 はまなし寮 ■

### 住所

〒401-0301

山梨県南都留郡富士河口湖町船津 6663-1

### 電話番号

0555-72-5322

### Web サイト:

<http://www.yfj.or.jp/publics/index/40/>

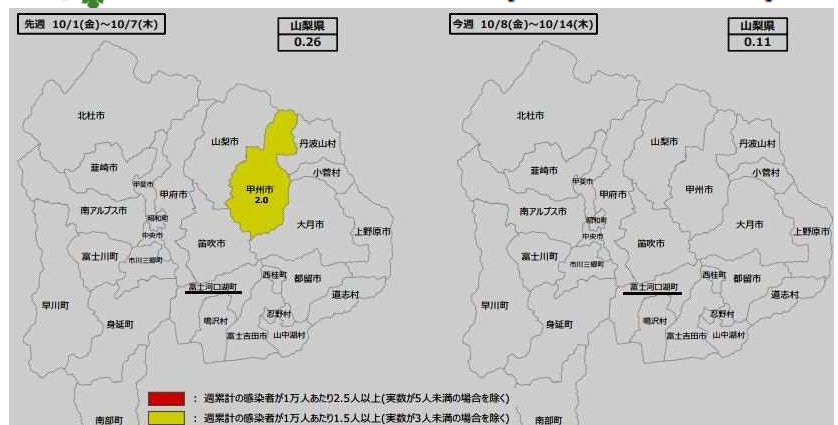
⇒面会等について、ホームページでも確認できるようにしております。ご活用ください。

## 近隣の状況

### 山梨県における感染状況

県による10月14日時点での感染状況です。

### 市町村別の患者発生状況(1万人当たり換算)



県内での発生者はデータ上では減っています。しかし、河口湖や石和などの観光地では県外からの人流が増えています。休日の飲食店では行列の出来ているところや、名所では密状態も見受けられます。気温も下がってきていますので、冬に向けての心配が止みません。マスクの着用、手洗い・消毒、ソーシャルディスタンスの徹底と、基本的な感染予防の実施を日常的に心がけていきましょう。

## 面会の制限

10月18日 現在

### ■「面会制限」

はまなし寮周辺地域での感染率が下がっているため、相談室においての面会とさせていただきます。**面会の予約をしていただき**、ご来訪ください。居室への立ち入りは禁止といたします。

■利用者の方には、手紙や電話などの利用を促していますので、積極的にご協力をお願いいたします。

■ご心配な際は、左記の電話にて連絡をお願いします。

## 10月7日～10日 障害者文化展

例年実施されている、県主催の「障害者文化展」が開催されました。コロナ禍ということもあり、開催場所を分散して行われました。郡内においては富士山駅の駅ビル「Q—STA」で開催。



絵画教室で描いた絵や、書道教室での力作、そして、みなさんで仕上げた貼り絵の富士山。外出などができなかった分、力作が多かったようです。コロナ禍の中、健康に留意してはまなし寮に通っていただいた、絵画・書道の各先生にも、本当に感謝です。

※みんなで仕上げた富士山が、郡内地域から県に推薦されました。甲府で行われる展示に出展予定です。やりましたね！



## 10月4日 アバターロボット体験



コロナ禍において外出ができない中、県とドコモの共催で「アバターロボット体験」の案内が来ました。すぐに連絡し、参加をゲット。事前に IT 環境など打ち合わせをして、いよいよ当日。はまなし寮相談室がアバターロボットの運転席に。

みなさん少し緊張気味。パソコンの矢印キーを操り、観光地にあるロボットを操作します。「あ、富士



山見えたよ！」「もっと右右！」「あー池に落ちちゃう！」「池の魚も見えるね」「左の方の花はなんだろう？」など、交代で操作をして、忍野八海、花の都公園を散策しました。障害の特性に合わせて、色々工夫や説明をしてくれたドコモのスタッフさんに感謝です。休憩時には別のロボットとご対面。利用者さんの後をついてくるロボットに「かわいいね」「ペットみたい」との声が聞かれました。これからの時代、楽しく活用していきたい、と思わせる体験でした。

